

け や き

Vol.18

2021.9

発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

秋の行事に乞うご期待！

日中はまだまだ暑いですが、朝晩は涼しくなりだいぶ過ごしやすくなりました。行楽の秋を満喫したいところですが、緊急事態宣言が延長され、まだまだ新型コロナウイルスの終息が見えてこない状況下では、今年も我慢が続きそうですね。

宝塚けやきの里でも感染拡大防止に伴い、例年のような行事は今年も難しい状況ではありますが、代替案として事業所内で感染症対策を行いながら取り組める行事を考えておりますので、楽しみにしておいてください。

最後になりましたが、新型コロナウイルスによる自粛疲れや夏の疲れなど、様々な疲れがたまっていると思いますが、皆様お身体に気を付けてお過ごしください。

所長 脇田 幸治

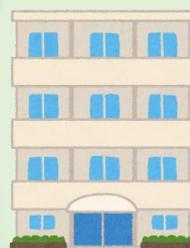
今月のトピックス

今月の作業の様子。

今月もタオル作業が安定して入荷しています。先月この場でお伝えしていたように通常のタオル作業と併せて宝塚市共同受注窓口グッドジョブ様からこの度、清掃業務を請け負わせて頂きました。夏場の猛暑を思うと涼しく、日中の屋外作業も比較的取り組みやすい季節です。今回は植え込みの剪定作業を中心に取り組みました。剪定ばさみを用いて作業される方、カットした枝葉をゴミ袋に詰め込んでいく方とそれぞれの持ち場で活躍して頂きました。

また地域の業者様とご縁があり、ポスティング作業を開始しております。住宅地を一軒ずつ歩いて回り、地道に取り組んでおります。

引き続き、皆様のニーズに沿った作業提供ができるように工夫していきます。



ミニコラム

『福祉資格取得等に係る実習学生受け入れの意義とは？』

毎年、我々宝塚けやきの里では実習学生を受け入れています。専ら実習学生といえどもその種別は様々です。例えば社会福祉士や保育士、ヘルパー、教職関連等があります。これら実習については学校や養成機関により、期間や時期が多少異なりますが、例年8~1月頃が主要な実施時期です。一方で社会情勢下では新型コロナウイルス感染症による様々な制限やその影響を大きく受け、実習についても否めません。とりわけ受け入れ側である施設や現場がお断りさせて頂くというケースが聞こえてきます。その理由としては勿論、リスクマネジメントの観点から結果的に断念せざるを得ないということが多いであろうと容易に考えられます。このように実習に関しても大いに影響を受け、コロナ禍で大変な日々が続きますが、ここで表題の通り、実習学生受け入れの意義について考えてみたいと思います。

早速ですが実習受け入れの意義の1つに施設・事業所が社会的に貢献していくことがあげられます。福祉資格取得等の養成課程における実習に対して、施設・事業所が実習の受け入れ機関として機能することで、次なる人材の育成、確保に繋がります。この点について実際に実習からリクルートへ繋がったという事例を私の周りでも見聞きしています。受け入れ側としてもこのような事例に対して指導の甲斐があったと直に感じられるものです。

次に2つ目として実習生が机上の論理だけではなく、実際の福祉現場で実習指導者・現場職員から指導を受け、或いは利用者との関わりの中から身を持ってより実践的な学びを体得することにあります。その反面、このような関係からも考えられるように実習受け入れ側の果たすべき責任は大きく、利用者にも不利益がないよう配慮することと同時に実習生に対してよりの確かな指導が行えるような環境作りが不可欠です。この点について我々の施設においては利用者本人或いは家族等から多大なる理解と協力を頂き、実習生に、よりリアルな体験と学びを提供できるようにさせて頂いております。とはいえども利用者やその家族に不利益が生じないよう個人情報の取り扱いや保護は勿論のこと、直接援助場面においても利用者の特性に配慮した上での指導を心がけております。

そして3つ目に施設・事業所にとっても実習受け入れを行うことで日々の支援を捉え直し、自らの実践を整理して指導・説明することから新人職員のスキルアップや資質向上をねらいとしている側面もあります。もちろん実習指導者自身も実習における中心的な存在として自らの社会福祉実践を整理すること、それらをもって伝える工夫や努力、指導する為のスキルアップを図ることが必要です。それらと併せて実習を受け入れる施設或いは法人としての意識の統一や、情報の共有、より綿密な組織化が必要であると考えます。

最後にこれまで述べてきたように実習受け入れを通して、我々施設側が気づかされたり、勉強になることが多々あります。また利用者や実習生から実習に関して思いや意見、感想をお聴きする中で、利用者からは「〇〇さん今日は来てるかな？」「〇〇さんと今日もお話できるかな？」、実習生からは「施設に対するイメージが変わりました。」「実習後もボランティア等させて頂きたいです。」等とお聴きし我々も励まされています。利用者やその家族の皆様には今後ともご理解とご協力を仰ぎながら、実習生の皆様、是非とも宝塚けやきの里で共に実りある学びを共有できたらと思います。

主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

